

# パターンオーダーで デザインと機能性を 兼ね備えた キャディ服を!!

見た目はもちろん、  
使いやすさにも  
とことんこだわる

キャディ服といえば、画一的なデザインで、仕方なく着させられているイメージが強い。

しかし、キャディたちが自ら着たくくなるようなデザインと機能性で、

お客様目線から見ても満足度の高い制服が、福岡県に現れ始めたと聞き現場をレポートした。

「うちの制服って古くさいよね……」「使い勝手がよくない……」  
このような不満を抱えているキャディは、全国のゴルフ場にどのくらいいるだろうか。統計調査を行ったわけではないが、おそらく大半のキャ

ディが感じていることだろう。少なくとも、現在着用している制服に「とても満足している」と答えるキャディは非常に少ないのではないかと

デザイン、色、パターン、素材な

ど、ニーズが多岐にわたるキャディ服だが、カタログ品が少なく、このような状況下では、ゴルフ場は、オーダーメイドで製作するしか選択肢がほとんどない。仮に、カタログがあったとしても、「デザインはそれ

なりにオシャレだけど、素材や機能性が不十分で作業がしづらい」という結果が待ち受けている。そういった背景からも、ゴルフ場の望むロット数や納期、単価で調達することは、ますます困難になっている。  
では、この課題を解決することはできないのかというと、そうではない。「なかにしゴルフ」のパターンオーダーシステムを利用すれば、こ

これらの悩みを一気に解消することができるはずだ。

## 長年の経験とデータが キャディの要望を実現

1979年12月の設立以来、40年以上にわたり全国で1000を超えるゴルフ場でキャディ服などを提供してきた(株)なかにしは、2020年1月に総合ユニフォームアパレルメーカーの(株)ボンマックスのグループとなり、現在は(株)BMファン・ソリユーション事業本部・なかにしゴルフ担当となっている。  
ゴルフ場の現場で培ってきた経験

とデータに加え、グループのノウハウがシナジー効果を生むことができるようになった。その結果、誕生したのが、「なかにしパターンオーダーシステム」である。

同システムが優れているのは、何と言っても「デザイン性」と「機能性」を兼ね備えているところだ。

トレンドに合わせた人気のデザイン6型をベースに、小ロットで発注できる春夏45色、秋冬42色と各5素材を組み合わせた「パターンオーダーカATALOG」をベースコンテンツとしつつ、顧客のニーズに合わせてカ

スタマイズすることにより、オリジナルテイ溢れるデザインを実現できる。また、社内にデザイナーとパタンナーを有しているため、デザインや素材・機能に関する細かなリクエストに対しても、短期間での対応が可能だ。

そして、ゴルフ場にとって何より嬉しいのが、小ロット、クイックな納期、リーズナブルな価格で提供できるという点。初回の経済ロットが20着で、追加は2着から偶数着数で注文できるという。

他にも、なかにしオリジナルデザインに加え、同社は、1990年代に全国のゴルフ場で一世を風靡したゴルフアパレルブランド「MIEKO UESAKO SPORTS」のファッションデザイナー上迫美恵子氏と提携しているため、さらにオリジナリティがあるハイクオリティのデザインにも対応できることも特徴だ。

## キャディの雇用面でも 制服の重要度は高い

長年、同社の制服クオリティに高い信頼を寄せ、昨年には同社と一緒に冬シーズンに制服を十数年ぶりにリニューアルをした福岡雷山



「キャディ服はお客様サービスの観点だけでなく、キャディのモチベーションアップにも繋がる重要なアイテムです」 森内支配人

ゴルフ倶楽部(福岡県)の支配人・森内晃作氏は、まず新しいデザインについて、

「フロントやレストランスタッフの制服デザインにこだわっているゴルフ場はたまにお見受けしますが、キャディ服に関しては、どこも似ている、どちらかと言うと作業着的なデザインだと感じていました……また、キャディの人材不足がゴルフ場にとって大きな課題であるにもかかわらず、現状のままでは、ますますキャディを志す人は減少してしまうのではないのでしょうか。制服のデザインで進学する学校を決める女子が多いように、就職においても、制服が気になる女性が多いと聞きます。新卒など若い女性をキャディとして採用するためにも制服のデザインはとても重要だと思います。デザインに関しては、キャディマスターが担当者として、キャディ全員の意見を取りまとめ進めてくれました。紺色ベ

サイドにトーンの違う配色をすることで  
スッキリとしたシルエットに



ースでスタイリッシュなデザインです。ちなみに、私は現場のみんなの意見を尊重して、承認しただけですよ。もし、よっぽど奇抜なデザインが上がってきたらストップをかけていたかもしれませんが、もちろんそんなことはありませんでした」

と、笑顔で振り返ってくれた。

次に、素材・機能面に関しては、「現在使用している冬シーズンの制服は、家庭で簡単に洗濯することができて、アイロンも不要です。伸縮性も十分で、制電機能も備わっています。また近年、大きなヘッドカバーを使用するゴルフアーマーが多く、従来のポケットではなかなか収納できませんでしたが、新しい制服は腰のポケット幅を広くしたので、難なく入ります。明らかに使い勝手が以前と大変好評です。また、緊急時などの連絡に使用するスマートフォン専用のポケットも付いているので、非常に使いやすいと聞いています」(森内支配人)

## 時代の変化に応じて 制服も変えていくべき

今回の制服リニューアルを指揮し



### キャディ業務を 考慮した ひと工夫

すべてのポケットが  
実際に使用するツールを  
想定したサイズとなっている



「時代の変化によりユニフォームに求められるものも変わっていきます」  
牛島キャディマスター

た担当者で、同GCキャディマスターの牛島匡夫氏は、

「当倶楽部には、幅広い世代のキャディが在籍しています。全員から希望や意見を聞いたので、決定にいたるまで少し苦労しました。しかし、結果的にはベテランのキャディたちが、モチベーションアップの向上に繋がりたいとの思いから、若手キャディの意見を中心に採用してくれました。もちろん、好みの色や素材、欲しい機能は十人十色なので、全員の希望をすべて叶えることはできませんが、キャディ全員に合格点を出してもらえるものができたと思っています。現在は、夏シーズン用の制服のリニューアルをなかにしさんと進めています。夏らしく明るく爽やかなカラーで、日焼けがしにくくて、軽量で風通しがよく、吸水速乾で接触冷感機能がついている素材をご提案いただいています」

と話す。今後については、

「年々、トレンドが変わるようになり、キャディたちが望むデザインも変わるでしょう。また、求められる機能も同様です。10年くらい前は、ものすごく大きなヘッドカバーを使用する方はほとんどいなかったですし、スマホもそこまで普及していませんでしたからね。今後は、3〜5年くらい先のスパンではリニューアルしていきたいと考えています」(牛島キャディマスター)

キャディ採用のため、そして現キャディたちのモチベーションをアップさせるため、新たに誕生したパターンオーダーシステムを利用してみてはいかがだろうか。

[問い合わせ]

(株)BMファン

〒812-0023

福岡市博多区奈良屋町5-15

TEL 092-292-4114

HP <https://bmfun.co.jp>

